

平成25年度事業報告および 平成26年度事業計画

公益社団法人 日本技術士会
原子力・放射線部会
第10回全体会議

Great People on Nuc.& Rad.



平成26年6月20日

葺手第二ビル AB会議室

1. 平成25年度事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

■ H25年度は以下の項目について、事業計画に基づき活動した

1. 1 福島支援

1. 2 制度活用具体化

1. 3 技術士数確保

1. 4 継続研鑽

1. 5 広報

1.1 福島支援

1.1.1 「福島対応WG」での検討結果、昨年度の実績、意見交換会の提案を踏まえた支援計画の実施

- ・CPD実行委員会で技術士フォーラム2013「放射線による被ばくリスクと放射線防護をどう考えたらよいか？-福島の復興と、人々の尊厳を守るために、我々は何をすべきかを考える-」(11/25開催、参加者142名)を開講した。

1.1.2 「環境省・除染情報プラザ」の支援

- ・除染情報プラザへの部会員20名専門家登録を行い、福島県下だけではなく東京都、宮城県等の市町村の人達に対して、「放射線」、「除染」等の講演を行った。

1.1.3 東日本大震災災害復興支援

- ・防災支援委員会と協力し、東日本大震災災害復興支援として、以下の支援活動に参加した。
 - 第5回福島ふるさと交流会(主催:福島被災者同行会):日時2013/5/24、参加者約40名、スタッフ約20名
 - 第6回福島ふるさと交流会(主催:福島被災者同行会):日時2013/7/18、参加者約30名、スタッフ約3名
 - 第7回福島ふるさと交流会(主催:福島被災者同行会、さわやか福祉財団):日時9/3、参加者約18名、スタッフ約30名
 - 第8回福島ふるさと交流会(主催:福島被災者同行会、さわやか福祉財団):日時2014/1/29、参加者約30名、スタッフ約24名
 - 第3回東京YWCA東日本大震災バザー(主催:東京YWCA):日時2013/6/29、参加者715名、ボランティア延べ160名

1.2 制度活用具体化(1)

1.2.1 「技術士制度活用第II期WG」で放射線分野の活用策検討

- ・平成25年度は福島支援活動を優先したため、当該活動を実施せず

1.2.2 原子力・放射線関連政策への提案

- ・平成25年度は福島支援活動を優先したため、当該活動を実施せず

1.2.3 関係機関への提案

- ・平成25年度は福島支援活動を優先したため、当該活動を実施せず

1.2.4 原子力学会・保健物理学会等との連携で検討加速

- ・原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会に委員として当部会から2名参加。

1.2.5 雑誌、学会誌等への制度活用解説記事の投稿

- ・投稿実績を次頁に示す。

1.2.6 意見発信、技術解説の検討

- ・意見交換会「部会の今後の10年先を目指して」(2014/3/7)で、部会活動を紹介した。

1.2.7 事業結果・計画の承認(部会員の活動状況周知)

- ・全体会議を行い、平成24年度の事業結果と平成25年度の事業計画の審議を行い承認を得た。

1.2 制度活用具体化(2)

1.2.5 雑誌、学会誌等への制度活用解説記事の投稿

・月刊「技術士」への投稿実績

発行年	投稿記事	投稿者
2013年6月	「原子力・放射線部会員の除染情報プラザへの支援活動」	大橋 正雄
2013年7月	「日本技術士会の対外広報活動への取り組み」	佐川 渉
2013年8月	「浜岡原子力発電所見学会報告」	原子力・放射線部会
2013年9月	「原子力・発電・放射線基礎講座1 原子力発電所の特徴」	岡村 章
2013年10月	「原子力・発電・放射線基礎講座2 原子力発電所の安全とリスク」	岡村 章
2013年11月	「原子力・発電・放射線基礎講座3 福島第一原発の事故経緯と教訓」	伊藤 晴夫、 富永 研司
2013年11月	「福島第一原子力発電所事故避難者の支援活動」	中田 よしみ
2013年12月	「原子力・発電・放射線基礎講座4 放射線の人体影響」	横堀 仁
2014年1月	「福島第一原子力発電所事故に対する教育訓練への取り組み」	白崎 理俊
2014年2月	「原子力・発電・放射線基礎講座5 放射線の利用」	横堀 仁
2014年3月	「原子力・発電・放射線基礎講座6 放射性廃棄物の処分と廃止措置」	大橋 正雄

1.3 技術士数確保

1.3.1 一次試験受験者の確保(原子力関連組織受験者拡大キャラバン、各大学技術士制度PR)

- ・日本原子力学会主催の技術士制度・試験講習会に講師を派遣した。

1.3.2 二次試験受験者の確保(修習技術者、技術士補の指導、講習会)

- ・日本技術士会主催の一次試験合格者・JABEE終了見込ガイダンスでのポスター展示説明への参加等主体的な参加を行った。
- ・日本原子力学会主催の技術士制度・試験講習会に講師を派遣した。

1.3.3 原子力学会HPの「技術士情報ページ」運営

- ・日本原子力学会のHP運営に協力し受験拡大に努めた。
- ・「技術士資格取得の勧め」を改定しHPに掲載した。

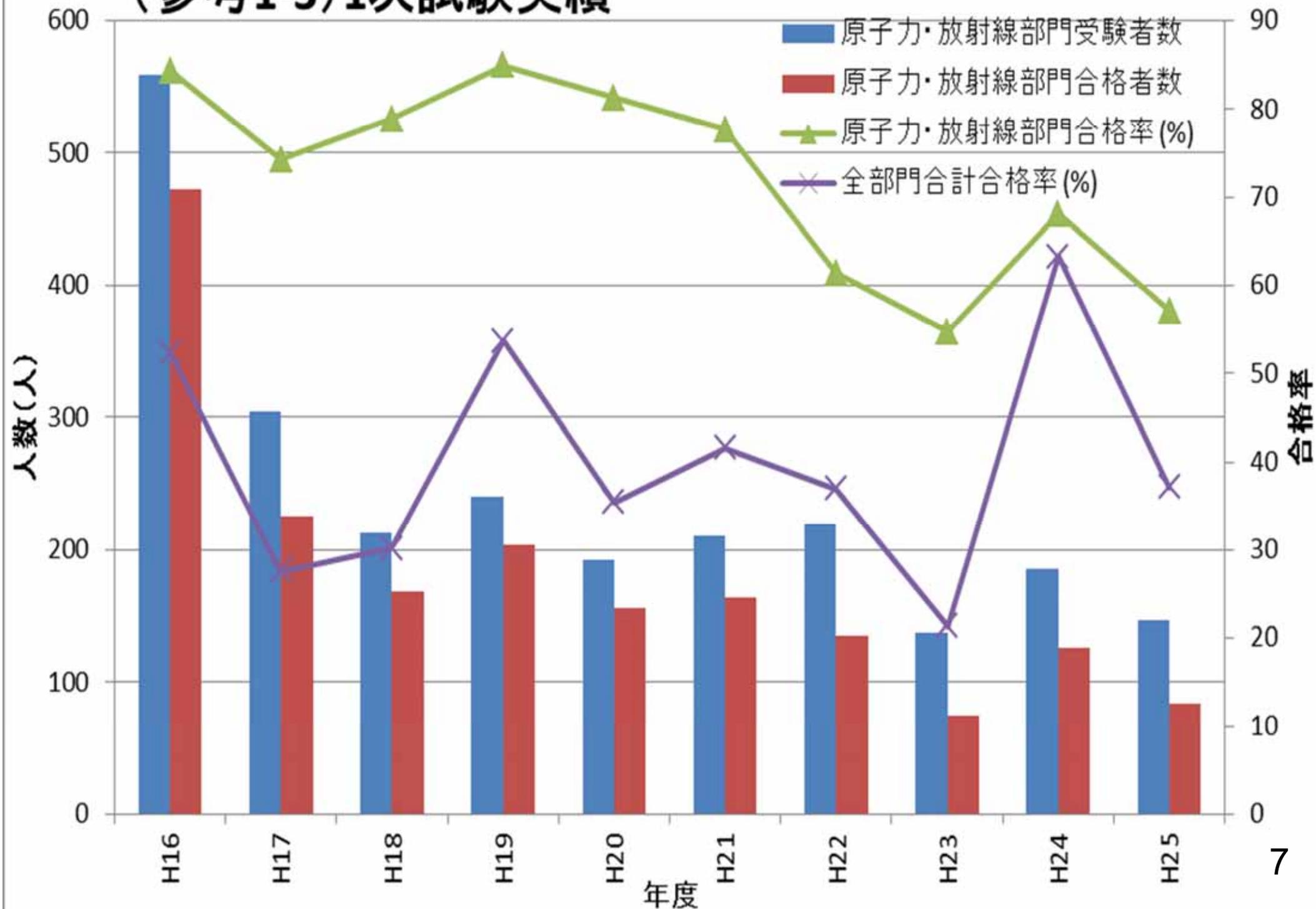
1.3.4 原子力学会HPに試験問題解説記事等の掲載

- ・日本原子力学会原子力教育・研究小委員会監修のもと、平成25年度技術士試験「原子力・放射線部門」対策講座「平成24年度技術士一次試験「原子力・放射線部門」—専門科目の解説—」および「平成24年度技術士二次試験「原子力・放射線部門」—そのポイントを探る～全体解説、必須科目及び選択科目の課題と解説—」作成に協力した。

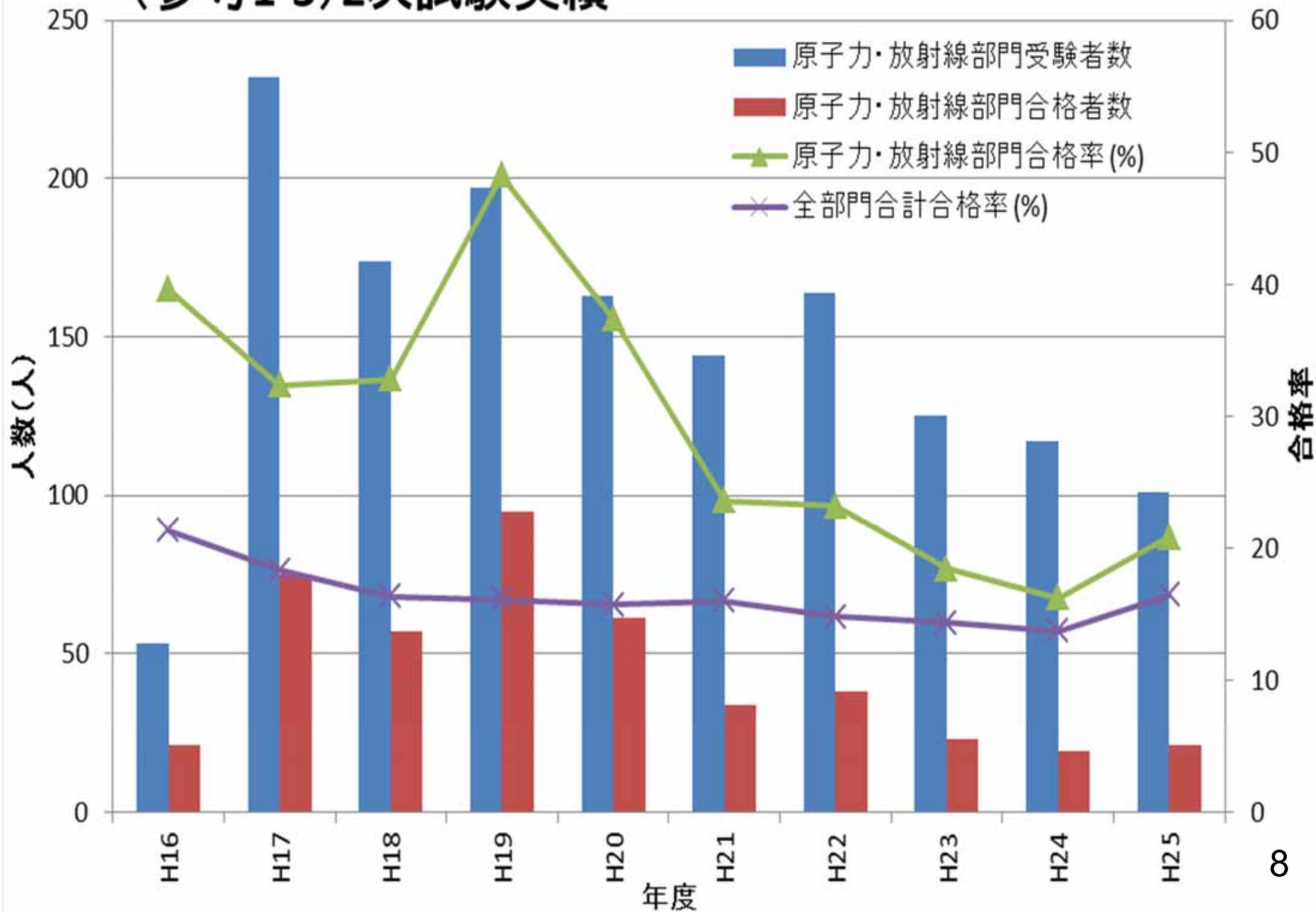
1.3.5 原子力学会等との連携で受験者増加促進

- ・日本原子力学会主催の技術士制度・試験講習会に講師を派遣した。
- ・日本原子力学会の最大会員数を持つ北関東支部総会での若手研究者発表会にて、本部会の活動の紹介(ポスター展示及び説明)を行った。

(参考1-3)1次試験実績



(参考1-3)2次試験実績



1.4 継続研鑽(1)

1.4.1 部会主催、共催の講演会、見学会

○見学会

- ・浜岡原子力発電所見学会を25年5月に実施。参加者は32名(P.9に詳細を示す)。

○講演会

- ・特別講演会1回、例会講演会4回を開催した(P.11に詳細を示す)。
- ・CPD実行委員会で技術士フォーラム2013「放射線による被ばくリスクと放射線防護をどう考えたらよいか？-福島の復興と、人々の尊厳を守るために、我々は何をすべきかを考える-」(11/25開催、参加者142名)を開講した。
- ・茨城県支部、JAEA技術士会、神峰技術士会との共催で、26年1月に「北関東地区 講演と報告会」(参加者30名)を実施。

○合格者歓迎会での部会活動紹介、二次試験合格者講習会

- ・日本技術士会主催一次・二次合格歓迎会、青年技術士交流実行委員会主催合格歓迎会にて部会活動を紹介
- ・二次試験合格者に対し、技術士制度、国際ライセンス制度、CPD制度等の理解向上のための講習会を実施。

○レジュメ/資料等の公開

- ・全体会議、講演会・見学会、技術士会各委員会活動状況等をHPへ掲載。

1. 4 継続研鑽(2):見学会

■H24.05.10

浜岡原子力発電所

- ・地震・津波対策全般及び1、2号機の廃止措置状況等の概要説明、
- ・防波壁、緊急時海水取水設備ポンプ追加、災害対策用発電機等見学、
- ・5号機中央制御室、原子炉建屋最上階の状況、ガスタービン発電機等見学、
- ・「失敗に学ぶ回廊」見学

参加者：6部門32名

(機械、電気電子、建設、農業、
生物工学、原子力・放射線)



1.4 継続研鑽(3)

部会主催講演会「技術士のタベ」

年月日	講演題名	講師所属	講師名 (参加人数)
'13/6/21	放射線防護は何を守るのか？ 物理過程から福島まで	前放射線審議会 会長	丹羽太貴氏 (43名参加)
'13/7/19	福島第一原子力発電所事 故と原子力安全推進協会の 役割	原子力安全推進 協会	成瀬 喜代士氏 (32名参加)
'13/9/20	原子力規制の現状(原子力 規制委員会の発足に伴う)	日本原子力研究 開発機構	青木照美氏 (30名参加)
'13/11/15	福島原子力事故の総括およ び原子力安全改革プラン	東京電力(株)	姉川尚史夫氏 (34名参加)
'14/1/17	原子力人材育成の課題と対 応	日本原子力産業 協会	服部拓也氏 (27名参加)
'14/3/7	意見交換会「部会の今後の 10年先を目指して」	-	- (18名参加)



年間開催数 計6回、 参加者合計184名

1.5 広報

1.5.1 対外広報原子力・放射線の啓蒙、技術士制度と部会活動紹介(雑誌、学会誌、業界紙への投稿・紹介)

- ・投稿実績を5頁に示す

1.5.2 部会報の発行

- ・部会報第12を2013年4月30日に発行。
- ・部会報第13を2013年9月30日に発行。

1.5.3 部会ホームページの運営

- ・部会ホームページを5月、9月、1月に更新。

1.5.4 メーリングリストによるコミュニケーション

- ・技術士会同報メールを1～2回/月の頻度で発信。

1.6 その他の活動

(技術士会内部委員会等への参加)

会議体、委員会名	部会幹事・会員名
理事会	林 相談役(理事)
部会長会議	桑江 部会長
倫理委員会	林 相談役(委員長)、岡村副部会長、中野幹事
総務委員会	栗原 幹事
企画委員会	佐川(渉) 幹事
広報委員会	丸下 幹事
CPD実行委員会	佐々木(聡) 幹事
修習技術者支援実行委員会	榊 幹事(委員長)
青年技術士交流実行委員会	伊藤(友) 幹事
防災支援委員会	阿部 幹事

2. 平成26年度事業計画

- 2. 1 安全文化醸成に資する活動
- 2. 2 技術士の認知度向上と
技術士増に向けた活動
- 2. 3 部会員の技術士活動の支援
- 2. 4 広報活動

2.1 安全文化醸成に資する活動

2.1.1 3・11事故の反省・教訓を風化させない働きかけ

2.1.2 安全文化の理解と促進

2.1.3 原子力界全体の安全文化醸成の議論と発信

2.1.4 学協会との意見交換

→今後アクションプランを検討し、施策として具体化してゆく。

2.2 技術士の認知度向上と技術士増に向けた活動

2.2.1 部会および部会員の存在意識のアピール

2.2.2 組織体・事業体での一次試験の活用

→今後アクションプランを検討し、施策として具体化してゆく。

2.2.3 学協会・大学と連携した資格取得の啓蒙活動

- ・原子力学会と連携して受験者の増加促進
- ・原子力学会HPの「技術士情報ページ」運営

2.3 部会員の技術士活動の支援

2.3.1 CPDのための講演・教材の提供

- ・CPD中央講座の企画開催
- ・部会後援会の企画開催
- ・部会見学会の実施

2.3.2 リスクコミュニケーション活動の支援

- ・防災委員と連携した活動

2.3.3 APECエンジニアやEMF国際エンジニア資格取得の啓蒙活動

- ・新技術士講習会の開催
- ・日本技術士会主催の行事への参加・協力

2.3.4 技術士の個人活動の支援

2.4 広報活動

2.4.1 情報発信の仕組み構築

- ・部会HPの組織的な運用による迅速な情報発信
- ・掲示板等の活用による双方向の情報伝達

2.4.2 情報交換の活性化

- ・各種資をタイムリーに掲載
- ・メーリングリスト、ストレージを活用したコミュニケーションの活性化
- ・インターネット会議、地方主催講演会の仕組み・体制の検討

2.4.3 一般への原子力・放射線技術の理解 促進

- ・社会人向け講座「知の市場」への講師派遣
- ・月刊「技術士」に放射線利用関係の掲載を企画